

11月19日の卓話は、東京紀尾井町ロータリークラブの目代純平様による
「子どもたちのスマートフォン・インターネット使用の実態」
～10年の講師経験から見えてきたこと～でした。

どんどん身近になるスマートフォン、インターネット上には、どんな危険が潜んでいるか。
危険なサイトや犯罪の掲示板等を実例を交えたお話や、被害者・加害者にならないためのお話等をしていただきました。



WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO
BAY
ROTARY
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区
VOL.30 NO.18 第1375回 2020年11月26日



Rotary Opens
Opportunities
ホルガー・クナーク会長

第2580地区ガバナー
野生司 義光(東京小石川RC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日の卓話

「今を知り 今を考え 今に学ぶ」
～令和三年 六白金星辛丑年をどう生きるか～
玉泉院 第29代 住職
井上 慶亮氏

次回のプログラム

年次総会

2020年11月19日
第1356回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
19人	16名	84.21%	11月5日 休会

- 点 鐘
- ロータリーソング 「それこそロータリー」
- ゲスト 山本和夫 元パスとガバナー補佐・稲山雄一 会長エレクト(江戸川RC)
井原 亮 様(入会候補者)、岩瀬朋彦 様(紹介者:松戸RC)
- ビジター 小林 渉 氏(東京東RC)

<幹事報告>

・コロナウィルス感染拡大の状況を鑑み、12月10日に予定しております、年末家族会は開催しない方向で理事役員会にて審議したいと考えております。

<委員会報告>

・なし

<伝達・贈呈>

・丸山会員へのお祝い金の贈呈(曾孫ご誕生)

<その他>

・IMキャラバン:山本様、稲山様よりIMのご紹介がありました。密を防ぐための会場変更、パネルディスカッションに使用するアンケートの協力依頼等のお話がありました。



■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1
ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615

■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F
TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611
E-mail tokyobay@club.email.ne.jp
HP https://tokyobayrotaryclub.com

■ 役員 / 会長 岡本 隆一
会長エレクト 原田 俊彦
幹 事 原田 俊彦
副幹事 田中 保



会報委員長 市川 英治

ニコニコボックス

山本 和夫様・稲山 雄一様(東京江戸川RC)

本日はIMのキャラバンとして、稲山さんと伺いました。

小林 渉 様(東京東RC) 林さん、先日は東京東ロータリークラブにて卓話を頂きました。ありがとうございました。

岡本 隆一君 目代様、卓話よろしくお願いします。井原さん、岩瀬さん、ようこそ! IMキャラバンお疲れ様です。

原田 俊彦君 ここに来て再びコロナが増えてます。これまで以上に気を付けて下さい。

丸山 文人君 我が家で初めてのひ孫が生まれました。男の子です。3代目が生まれて、嬉しい限りです。

荒井 節子君 今日はボジョレーヌーボーの解禁日なのに、コロナ禍のせいでしょうか、全然ニュースになりませんネ。と思ったら、石渡さんが、沢山持ってきてくれました。年末家族会で使わせて頂きます。

石渡 秀雄君 日曜日は義母と妻のバースデーパーティーを事務局 奥さんの紹介のお店でしこたま飲みました。割とおいしいイタリアンでした。

土屋 東明君 もうすぐ年末家族会。差し入れのお酒、宜しくお願いします。

武内 次男君 本日の卓話、目代純平氏をお迎えして。

野木 芳宏君 目代純平様の卓話、楽しみにしております。

許 瑛子 君 本日の卓話、目代純平様、よろしくお願いします。

林 茂男 君 卓話に目代さんをお迎えして。井原さん、ようこそです。

波多野幸雄君 子供達のスマートフォン事情、大変興味あります。よろしくお願いします。

宮島 俊雄君 目代様、本日の卓話、楽しみにしています。

水谷 文彦君 目代様、卓話楽しみにしています。

田中 保 君 今日は目代さん、よろしくお願いします。

工藤 久志君 目代様、本日の卓話宜しくお願いします。

三宅 郁子君 目代様、本日の卓話よろしくお願いします。

合計 45,000円

第十回 ロータリー財団月間に因んで — ロータリー財団の始まり、経過、今後 —

- ◎1917年国際ロータリー連合会会長アーチ・C・クラフの提唱「国際理解 と親善を目的とする基金」を設定。初期ロータリアンの冷たい反応で、基金が集まらない状況が続く
- ◎次年度の国際大会のホストであるカンサスシティで「我々は、ロータリーの真髄に忠実なるが故に、このような原理に反する金を出したくない。しかし金を出さないと、議案が否決されて会長が赤恥をかく」とカンサスシティクラブが人身御供になって出した金が、僅か26\$50セント、200名以上いるクラブの寄付で！基金は1927年まで国際ロータリー理事会が預かることになりました。この頃ガイガン・デイカー曰く「ロータリーの奉仕は、個人的、精神的、非金銭的なものだった」「弱者救済に重点をおく団体的、金銭的、即物的奉仕は危険である」と考えられており、ロータリーは心を求めるところであるという伝統的な考え方が主流を占めていたのです。
- ◎ポール・ハリスの寛容論
「善意で提唱され、そして実在するに至ったものは、その因縁は大事にしよう」と妥協案を出した。
- ◎1927年、RIはアメリカの国内税法上の免税措置では、財団制度にすると特例が認められることに着眼。クラフの提唱による基金を、信託制度、即ち、慈善の目的をもってする信託へ組織変更し、募金が企業上の損金として処理出来るのでRI理事会がこの案件を提唱しました。
- ◎1931年「ロータリー財団」と名称は変更になったが、依然として実体は変わらず、基金は集まりませんでした。
- ◎ポール・ハリスは、第2次世界大戦の勃発を予防するために、若者に国際感覚を育成し、国際理解と親善のためにロータリー財団に百万ドルを集めて奨学金を支給しよう、そして、若者達に国際感覚を育成することを目的としたロータリー運動を起こそうと自陣頭に立ったのだが、それでも、基金は集まらない状況でした。
- ◎1947年1月27日、ポール・ハリスがこの世を去った後、彼の意志「ロータリー運動の国際性」を、残されたロータリアン達が「ロータリー財団に募金をというスローガン」を提唱することになって、一躍、国際奉仕の檜舞台にのし上がってくるようになったのだ。
- ◎ロータリー財団とは
正式な名称は「国際ロータリーのロータリー財団」です。非営利組織で、ロータリー会員をはじめ、より良い世界を導こうというビジョンを共有する財団支持者の方々から自発的な寄付によってのみ支えられています。寄付はロータリー財団の補助金になり助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらす活動に役立てられています。『世界で』よいことをしようとの理念の下、財団支援者の自発的な寄付のみによって支えられています。国際ロータリーの目的を推進するための単独の信託期間として、全資産を維持、投資、管理、運営しています。
- ◎ロータリー財団の使命と運営・管理
 - ①ロータリー財団の使命
ロータリアンが世界で健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることです。
 - ②ロータリー財団管理委員会
ロータリー財団の運営は、財団管理委員会の下で行われますが、財団はRIに対する報告義務があります。管理委員会のメンバーは15名で、RI会長が理事会の承認を得て管理委員を任命します。その内4名はRIの元会長です。管理委員長は元RI会長歴任者の中から選ばれるのが慣例となっています。

③地区ロータリー財団委員会

*Case 第2580地区



続く

◎ロータリー財団のプログラム

※教育的プログラム

- ①ロータリー財団国際親善奨学金
- ②大学教員のためのロータリー補助金
- ③国際問題研究のためのロータリーセンター
- ④研究グループ交換GSE (Group Study Echange)

※人道的補助金プログラム

- ①地区補助金
- ②ボランティア奉仕活動補助金
- ③マッチング・グラント
- ④保健、飢餓追放及び人間性尊重
- ⑤災害復興

※特別プログラム

- ①ポリオ・プラス
- ②ポリオ・プラス・パートナー

◎現代のロータリー財団

【ロータリー財団への寄付分類・認証】

- (年次基金) ポール・ハリスフェロー、マルチプル・ポール・ハリスフェロー、「財団の友」会員、ポール・ハリス・ソサエティー、メジャードナー・アーチ・クラフ・ソサエティー他
- ※世界中の地域社会で平和の推進、水の衛生の改善、教育の支援地元経済の 促進、母子の健康改善、疾病の治療・予防などの活動を支援
- (恒久基金) ベネファクター、遺贈友の会
- ※未来への持続可能なプロジェクトを実施するために必要な財源。恒久基金への寄付は投資され、元本が支出することなく収益の一部がロータリー財団プログラムを恒久的に支援。
- (ポリオプラス)
- ※ポリオ撲滅活動の支援

◎私の財団に対する考えを最後に記します。

現在、RI及びガバナーは強力に会員増強と公共イメージ向上を推していますが、

※会員増強を奨励!

近年の規定審議会は会員増強を切望して規制緩和が著しい会員の数、**資金を財団**に是が非に集め、数、力、パワーを備えた巨大組織にしたい。

※公共イメージ向上を奨励!

ポリオの奉仕活動、弱者救済、難民の飢餓支援

・従来の3H運動「健康改善、飢餓救済、人間性向上」(国際規模のプロジェクト)を先行、実施を計り・

「国連認証の世界的奉仕団体としたい、国際的地歩をし、地位、位置を固めたいと考えている」

のだと推測します。

財団が、この世に誕生するまでには、色々ありますが、時代の変化と共に、今や、多方面に亘って財団が存在します。ロータリーは思想・倫理の運動体として出現したので、お金と団体が先行することを拒んだのだと思います。言わば、ロータリーは尊くも「精神的、個人的、非金銭的」で始まり、理念を求める団体で、ロータリアンに「奉仕の心を受けける団体、世に倫理を提唱する団体、心の開発を第一義とする団体」なので、思想、精神、哲学の運動体なのです。

そこに真髄があり、本質があり、魅力が内在されているのです。

この心を持って、財団を心して活動せよ…の源となる思想なのです。

私達は、この原点を見失わずして財団活動を成すべきことを忘れてはならないと考えます。

【参考】

◎世界の学生に対する財団

- 1.フンボルト財団 } ドイツにきた若者に奨学金
- 2.フルブライト委員会 } アメリカにきた若者に奨学金
- 3.フォード財団 }
- 4.ブリテイッシュカウンセル } イギリスにきた若者に。
- 5.米山奨学会 } 日本にきた若者に。

◎世界の代表的財団

- ・ナショナル・トラスト } イギリス「環境や歴史的建造物の保護」
- ・ロックフェラー } アメリカ「社会貢献」
- ・カーネギー財団 }
- ・ハーシー財団(チョコレート) } アメリカ「教育」

◎日本の古くからの信託的財団

※財団は信託に類似している。人の思いを繋げるしくみ、お金の制度。

- ・頼母子講「急な出費に備える為、米やお金を持ち寄る組合」
- ・陣代「一族の主人が幼少の場合、変わってその任務を行う役目」
- ・米百俵「長岡藩は寄贈された米百俵を分配せず、将来のための学校設立資金にあてた」
- ・七分積金「積立金による社会救済事業」